

総院長のひとりごと

テーマ「総院長に就任して」

本年7月に院長から総院長に昇格しました。総院長・名誉院長と聞けば引退前の様なイメージもありますが今回はあくまでも昇格人事であり、今までの仕事はこれまで通り、院長の業務は金茂成新院長へいい形でバトンを渡したいと思います。

二十一年前の平成十五年に福岡新水巻病院は開院致しました。その時から推し進め、今でも継続・出来ている事として、OJT (On the job training) : やりながら教えること、指導医が熱いこと、「明るく、楽しく、激しく」のキャッチフレーズ、大病院の機能と中小病院の温かさ、職員同士の仲が良いこと・家族愛、病院をわが家と思って綺麗に大事に使うこと、全人的教育、グループ病院間の協力・切磋琢磨、海外研修、川のせせらぎ外来など多くあります。

本年度から、医師の働き方改革、看護必要度の厳格化による急性期病床の見直しという大きな変革を全国の病院に求められています。当院の様に救急患者さんを多数受け入れている病院でも構造改革が必要です。当院は地域支援病院として「2025プラン」と言う、地域の医療構想に沿った将来計画を立てております。高齢化率の高い地域では急性期病床を減らし、回復期・慢性期病床への転換を考えなければなりません。コロナの猛威もひと段落と考えられ、飲み会や旅行も増えてきました。人と人との繋がりがこんなに楽しく、大事なことだと再認識しているところです。この4年間は医療職にとってまさに魔の四年間と記憶されるところで、まだ終わってはいませんが早く元通りとなりはじけたいですね、皆さん！いかが？

令和六年十二月九日 藤井 茂

第一章



藤井茂